

2020年12月14日

株式会社ADEKA

樹脂添加剤 新ブランド「アデカシクロエイド」を展開 ～樹脂業界のサステナブルなモノづくりを促進し、循環型社会へ貢献～

株式会社ADEKA（代表取締役社長：城詰 秀尊）は、環境対応型の樹脂添加剤ブランド「アデカシクロエイド」（英名：「ADK CYCLOAID」）を新たに展開します。同ブランドでリサイクル樹脂向けワンパック添加剤とバイオ由来原料塩ビ用可塑剤等を開発し、サンプル提供を開始しました。

今後、リサイクル樹脂やバイオプラスチック[※]等の環境対応型プラスチック市場に製品を積極投入することで、プラスチック資源の循環型社会への貢献を通じて樹脂添加剤における真のグローバル・トップメーカーを目指します。

ADEKAの「樹脂添加剤」は、プラスチックに添加するだけで、熱や光による劣化からまもり、強靭さ、透明性、難燃性など様々な機能性を付与する“素材”です。

例えば、自動車の軽量化による燃費の向上や家電製品の難燃性付与等、くらしのあらゆるシーンで無くてはならない“素材”であり、当社はグローバル・トップメーカーとして“プラスチックの長寿命化”に貢献してきました。

一方で、プラスチックごみによる環境汚染が地球規模で社会問題となっています。リサイクル技術やバイオプラスチックの開発など環境負荷低減を目指す取り組みも進歩してきましたが、循環型社会の実現に向けてさらなる機能性向上が求められています。

そこで、環境対応型プラスチックに従来のプラスチックと同等もしくはそれ以上の機能を付与することで、環境負荷低減と人々の豊かなくらしを同時に実現する「アデカシクロエイド」ブランド製品を開発しました。

この「アデカシクロエイド」の製品ラインナップ拡充とグローバル規模の販売拡大を目指し、環境対応型プラスチック分野における樹脂添加剤の市場を新たに形成することで、持続可能な社会に貢献してまいります。

アデカシクロエイド ADK CYCLOAID

ブランド名の由来：

資源の循環促進および循環における機能を補助するための“素材”の提供を通じて、持続可能な社会に貢献することを目指す。



※ 再生可能資源である生物資源が原料のバイオマスプラスチックと生分解性プラスチックとの総称。

補足1：「アデカシクロエイド」シリーズ新製品

「アデカシクロエイド」シリーズの第一弾として、以下3製品を開発、サンプル提供を開始しました。

⇒詳細な製品紹介は、当社WEBサイト「アデカシクロエイド」特設ページをご参照ください。

URL：<https://www.adeka.co.jp/chemical/pickup/pickup15.html>

1. リサイクル樹脂向けワンパック添加剤 ～リサイクル樹脂の性能を従来と同等に～

：酸化防止剤「アデカシクロエイド UPR-001」／核剤「アデカシクロエイド UPR-011」

概要：ポリプロピレンを中心としたポリオレフィンのリサイクル複合材に機能性を付与するワンパック添加剤。酸化防止性能と熱安定性を付与するタイプと核剤による力学特性の改善を可能にするタイプの2種類を取り揃えています。同添加剤の使用により複合材中のリサイクル比率を上げることが可能で、廃プラスチックの削減に貢献します。

用途：プラスチック容器や自動車内外装部品向けのポリプロピレン複合材のリサイクル

2. バイオ由来原料塩ビ用可塑剤 ～地球にやさしい塩ビに～

：「アデカシクロエイド PNB シリーズ」

概要：バイオマス度90%以上[※]の塩ビ用可塑剤。フタル酸系、二塩基酸エステル等の汎用的な可塑剤と比較して、耐油性（非抽出性）や熱安定性、他樹脂への非移行性において同等以上の性能を発現する、バイオマス原料を活用した可塑剤で、低炭素社会の実現に貢献します。

用途：フィルム・シート、日常的に使用されるポリ塩化ビニル製の各種工業製品

※（一社）日本有機資源協会認定のバイオマスマーク取得申請中。

補足2：ADEKAの樹脂添加剤事業

高度成長期に塩ビ製品の需要が増大したことを受けて、1954年、合成樹脂の実用において必要不可欠である塩ビ用可塑剤「アデカサイザー」の製造販売を開始しました。現在では、汎用樹脂やエンブラなど様々な樹脂に使用されている汎用品から高機能製品に至るまで多様な製品ラインナップを取り揃える総合樹脂添加剤メーカーです。現在は主カブランド「アデカスタブ」を中心に、グローバルに生産・開発・販売拠点を持ち、樹脂添加剤分野では世界シェア2位グループに位置しています。

以上

■本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社ADEKA 法務・広報部 総務・広報グループ Tel:03-4455-2803